



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和6年5月9日
文責：校長 江上 知男

今週から運動会の練習が始まりました！



スローガン発表(運動委員)



結団式で集合(応援団)

それにしても、とても「寒暖の差が激しい」毎日となっています。学校としては、子どもたちの体調管理に気を遣っています。保護者や地域の皆さまも同様のこととお察しいたします。

さて、運動会まで早くも2週間あまりとなりました。今週から練習が本格化しています。5月9日(木)には、運営委員の進行で「運動会応援団の結団式」がありました。運動委員が運動会のスローガンを発表し、応援団員の自己紹介と赤白団長のあいさつが発表されました。

心を一つにみんなで感動を届けよう みんな主役の最高な運動会

スローガンは、各学級から言葉を募集し、運動委員会、各委員長、学級代表で話し合って決定しました(子どもたちの思いが込められた言葉です)。スローガンは、子どもたちの「行動目標」でもあります。運動会が終わった後に、「みんな主役だった」という思いになればなあと思います。

ところで、今年の運動会も「子どもたちの体調管理」を第一に考え、PTA執行部と協議のうえ、「午前中のみ開催」「子どもの競演技学年時のみの参観席」としました。詳しくは、昨日運動会の案内を配付させていただきましたのでご覧ください。地域の皆さまには、自由に足を運んでいただけたらと思います。どうか、ご理解とご協力をお願いします。あとは天気…神様お願いです！

運動会は何のためにするのか…

時々、「運動会って何のためにするのか？」という質問を受けることがあります。一言で答えなきゃならないのですが、これがなかなか難しい…。「体力向上」「集団行動」「見栄え」…どれも当てはまりそうで、当てはまりません。本校では、運動会の目標を、学校教育目標に基づき次のように規定しました。

- ①気付き → 運動することの楽しさ、きまり・ルールの大切さに気付く
- ②考え → 全員が楽しめる運動会にするためには、どうしたら良いか自分なりに考える
- ③行動する → 規律やルールを守り、みんなで協力しながら取り組む

キーワードは、「運動の楽しさに気付く」「自分なりに考える」「みんなで協力する」です。運動会は、競争したり(徒走・リレー)、表現したり(ダンス)、達成したり(応援団)などの多様な楽しみ方があり、それらをまとめて「赤団vs白団」の勝負という形態になっています。毎年、運動会後の感想を読ませてもらいますが、子どもたちは、団の勝利を目指すものの、「リレーのバトンパスがうまくいった」「ダンスを映像で見たらきれいにそろっていた」「応援団は難しかったけどみんなが協力してくれた」など、**主体的に行動したことへの達成感や連帯感に喜びを感じていることが分かります。**私は、このことこそ「運動会は何のためにするのか」の答えだと考えています。

本校では、運動会の喜びを子どもたちに感じてもらえるように、発達段階に応じた指導に取り組むしたいと思います。疲れて帰ってくる子どもたちに、温かい言葉かけをいただければ幸いです！